

「アサギマダラ」をみんなに伝えよう！
～活動した時のことを言葉で表そう～

本単元で育成する資質・能力

思考力・判断力・表現力

令和3年10月15日(金) 第6校時

中学校第2学年1名

1 単元観

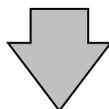
体験活動を通して「アサギマダラ」を他者へ伝えようとする中で、思考力・判断力・表現力を養い、また、ICT機器を使うことで、表現の仕方の学習に繋げていく。これらにより、他者と円滑なコミュニケーションを取るための力を育むことが期待できる。本単元では、特別支援学校中学部学習指導要領（文部科学省）から、次のことを取り入れて設定することにした。

- ・ 各教科の「国語科」（中学部2段階）内容から
 - A 聞くこと・話すこと
 - ウ 見聞きしたことや経験したこと、自分の意見やその理由について、内容の大体が伝わるように伝える順序や伝え方を考えること。
- ・ 各教科の「職業・家庭科」（職業）（中学部2段階）内容から
 - B 情報機器の活用
 - イ コンピューター等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現すること。
- ・ 「自立活動」の内容から
 - (6) コミュニケーション
 - ア コミュニケーションの基礎的能力に関すること
 - イ 言語の受容と表出に関すること
 - ウ 言語の形成と活用に関すること
 - オ 状況に応じたコミュニケーションに関すること

2 生徒観

当該生徒は、とても活動的で、野菜作りの最初の段階である土づくりから意欲的に取り組んでいる。家庭内で料理の手伝いをする機会もあり、経験したことは、やってみようとする。しかし、初めて行うことや人前での活動については、成功体験や自信のなさから、主体的に学習に取り組む意欲が十分に育っていないため、回避する行動が見られた。また、気持ちを上手く言葉にしたり、相手にわかりやすく伝えたりすることは苦手である。文章を作って書くことに苦手意識もあり、時間を要することも多い。国語科や生徒会活動と連動して、作文の基本として、「いつ、どこで、誰が、何をした」「その時どんな気持ちだった」を繰り返し指導し、作文や発表の活動を行うことで少しずつ自信がもてるようになった。漢字を書くことも苦手（小学校第3学年程度）で、書くことに時間がかかることもあったが、パソコンを使って文字入力をする中で、漢字を使って文章を書くことを好むようになった。加えて、日々のICT機器の活用により、日常で使う漢字を読んだり、予測変換を上手に使いこなしたりすることができるようになってきている。

このように、様々な操作的要素の含まれる活動や身近な話題や題材を提示することで、学習意欲が向上し、主体的に学習に取り組むことができるようになってきている。



3 指導観

指導にあたっては、生徒の主体的な学びを促すために、次のことに留意して行う。

- 単元のゴールを具体的に示し、生徒がやってみようと挑戦できる単元構成にする。
- 体験活動を通して「アサギマダラ」を他者へ伝えようとするこことで、学習への意欲を高めさせる。
- 文章作成においては、国語科で学習した「5W1H」を示し、わかりやすい文に整理させる。
- 文章作成で、ICT 機器を使うことで、これまで学習してきた文字入力活用でき、画像と合わせることで、その時の活動のイメージをもたせながら文章化させていく。また、途中段階での表現方法（画像の大きさや文字の種類、色など）に自由度をもたせ、達成感をもたせる指導を行う。
- 作成した作品（パワーポイント）の発表練習をする中で、表現が難しい部分は修正させていく。
- 報告発表し、成功体験をもたせるとともに、他者の感想やアドバイスを基に、修正や工夫をすることを通して、進路学習や他の単元の学習へ意欲をもたせる。

4 本単元に係る生徒の実態と個人の目標〔指導内容〕

実態	目標〔指導内容〕
<ul style="list-style-type: none"> • 活動したことを順序立てて説明すること、思ったことを相手にわかりやすく伝えることが苦手である。 • ICT 機器の活用に前向きであり、時間はかかるが、ローマ字入力ができ、予測変換を上手く活用できる。 	<p>○自分が活動したことやその時の気持ちを、ICT 機器を使って、相手に内容が伝わるよう順序などを考えることができる。</p> <p>〔中学部 国2 思考力・判断力・表現力等 Aウ〕</p> <p>〔中学部 職2 職業分野 Bイ〕</p>

5 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

	育成したい資質・能力	◇目指す生徒の姿（評価方法）
・ 課題発見 解決力	①課題を発見し自力解決に取り組む力	・学習活動する中で、自ら「こうしたい」と考え、それに取り組むことができる。（行動観察）
・ 表現力 思考力	②根拠を示して、説明する力	・「5W1H」を基に、画像にあった文章を作成することができる。（行動観察、パワーポイント作品、振り返り） ・自分が活動したことやその時の気持ちを、ICT 機器を使って、相手に内容が伝わるよう順序などを考えることができる。（行動観察、パワーポイント作品、振り返り）
・ ケー シ ョ ン 力 コ ミ ュ ニ カ	③相手の意見を聞き、自分の考えを深める力	・報告発表し、他者の感想やアドバイスを基に、修正や工夫をすることができる。（行動観察、パワーポイント作品）
・ 主体性 積極性	④目指す自分と現在の自分の姿を比較し、よりよく行動する力	・ICT 機器を使って、文章作成などに意欲的に取り組むことができる。（行動観察、振り返り）

6 本単元の指導と評価の計画（全 12 時間）

次	時	学習内容・活動	◇評価規準（評価方法）
第一次	1	○活動計画を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">「アサギマダラ」をみんなに伝えよう！ ～活動した時のことを言葉で表そう～</div>	◇ICT 機器を使って、情報収集などに意欲的に取り組んでいる。（行動観察、振り返り）
	3	○「アサギマダラ」を、タブレット端末等を使って調べる。 ○△△さん宅での体験活動の準備をする。 ・準備物、挨拶など	
第二次	4 5	○「アサギマダラ」にマーキングをする。（校外学習）	◇学習活動する中で、自ら「こうしたい」と考え、それに取り組んでいる。（行動観察）
第三次	6 （本時）	○伝えたいことを整理する。（誰に、何を、どのようにして）（必要な情報を整理する）	◇「5W1H」を基に、画像にあった文章を作成している。（行動観察、パワーポイント作品、振り返り） ◇相手にわかりやすく伝える順序などを考え、伝えようとしている。（行動観察、振り返り） ◇ICT 機器を使って、文章作成などに意欲的に取り組んでいる。（行動観察、振り返り） ◇ICT 機器を使って、情報収集などに意欲的に取り組んでいる。（行動観察、振り返り）
	8	○パワーポイントを使って、活動文章や感想を書き込む。 ・写真を取り込む ・活動したことを文章化する。 ・感想を書き込む。	
第四次	9 10	○複数教員に対して発表し、アドバイスを基に修正する。 ・発表練習をする。 ・発表が難しい部分は、発表がしやすいように修正する。	◇相手にわかりやすく伝える順序などを考え、伝えようとしている。（行動観察、振り返り） ◇複数の教員のアドバイスを基に、修正や工夫している。（行動観察、パワーポイント作品）
第五次	11	○2年生に発表する。 ・パワーポイントを使って発表する。 ・感想やアドバイスをもらう。	◇パワーポイントを使って、相手にわかりやすく伝えようとしている。（行動観察、振り返り） ◇報告発表し、他者の感想やアドバイスを基に、修正や工夫している。（行動観察、パワーポイント作品）
	12	○□□小学校や他の中学校へオンライン発表する。 ○振り返りをする ・感想やアドバイスを基に修正をする。 ・ビデオレターを撮影する。	

7 本時の学習

(1) 全体の目標

- ・「アサギマダラ」のことを、相手にわかりやすく伝えることができる。

(2) 本時の目標と評価規準

(1) 本時の目標		(2) 本時の評価規準
◇自分が活動したことやその時の気持ちを、ICT 機器を使って、相手に内容が伝わるよう順序などを考え、表現することができる。	⇒	◇「5W1H」を基に、画像にあった文章を作成している。(行動観察、パワーポイント作品、振り返り) ◇ICT 機器を使って、文章作成などに意欲的に取り組み、相手にわかりやすく感想を伝えようとしている。(行動観察、振り返り)

(3) 準備物

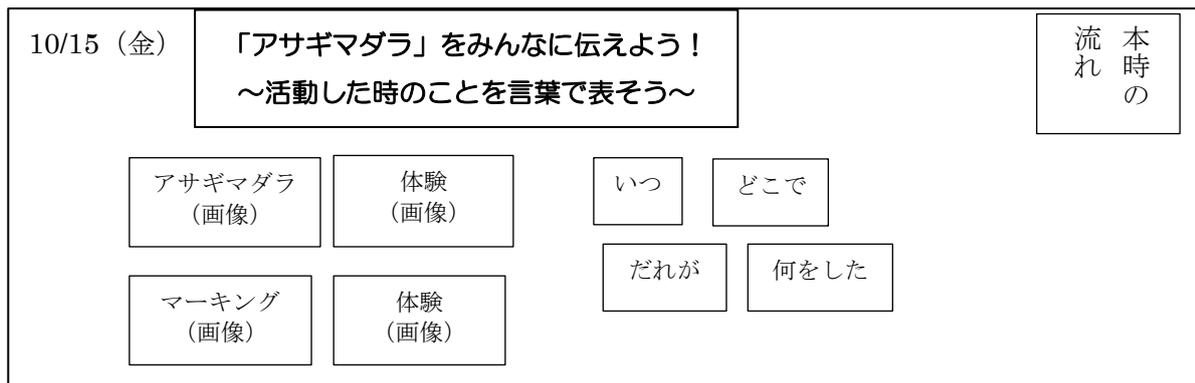
モニター、PC、カード（アサギマダラ、体験活動の画像）、めあて、5W1Hカード、振り返り用紙、本時の流れ（ホワイトボード）

(4) 展開

学 習 活 動	◆個への配慮・支援	◇評価基準（評価方法）
1 体験活動を振り返る T:「どんなことをしたかな？」 S:「捕まえてマーキングをした。」 T:「アサギマダラは、どんなチョウかな？」 S:「遠くまで飛んでいくチョウ。海を渡るチョウ。」	◆すぐに答えられなければ、画像を先に見せる。名称がわからなければカードで示す。	
2 本時の活動内容を知る	◆見通しがもてるよう、見通し表を示す。	T:「この前アサギマダラのマーキングをして楽しかったね。小学校の先生が、この時の様子を知りたいと言ってきているけど、どうする？」 S:「報告したい。」 T:「どんなふうに報告する？」 S:「この前（「野菜作り・クッキング」「職場体験学習」）のように、（パワーポイントを使って）オンラインで報告したい。」 T:「アサギマダラを知らない人にも、体験したことがわかるように、パワーポイントでいろんな人に伝えよう。」
3 パワーポイントの使い方を 知り、画像の取り込みをする ・アサギマダラとは ・マーキングの様子 ・△△さんのお話	◆ページのタイトルは、事前に作成しておく。 ◆画像の大きさ、位置取りなどで困ったときなど、生徒が援助要求しやすい位置で見守る。	

<p>4 コメント入力の方法を知り、画像にコメントを入れる 「いつ」「どこで」「だれが」「何をした」で文章を作って入力する</p> <p>「いつ」…10月11日 5,6時間目 「どこで」…△△さんの畑 「だれが」…僕が 「何をした」…アサギマダラを捕まえてマーキングをした</p> <p>5 吹き出しに感想を入力する。 T:「その時、どんな気持ちだった？」 S:「(どんな気持ちだったか) 忘れました。」 T:「この時、こんな事をした時、どう思った？」 S:「びっくりした。」「嬉しかった。」</p> <p>自分で気に入った吹き出しを作成し、気持ちを入力する。</p> <p>※4, 5を画像ごとに繰り返して行う。</p>	<p>◆画像を見せながら、どんなことをしたかを確認し、「5W1H」カードに合わせて、言葉を発表させる。</p> <p>◆具体的な場面を想起させ、その時の気持ちを思い起こさせ、言語化させる。</p>	<p>◇「5W1H」を基に、画像にあった文章を作成している。(行動観察、パワーポイント作品、振り返り)</p> <p>◇ICT 機器を使って、文章作成などに意欲的に取り組み、相手にわかりやすく感想を伝えようとしている。(行動観察、振り返り)</p>
<p>6 作品を発表する(途中段階) できているところまでを、モニターを見ながら発表する。</p>	<p>◆パワーポイントの操作は指導者が行い、生徒には画像に合わせて、活動内容や感想を読ませる。</p>	
<p>7 振り返りをする</p>	<p>◆キーワードとして、難しかったこと、上手くできたこと、次に頑張りたいことを問いながら、自分の考えを整理させる。</p>	
<p>8 次時の活動の確認する</p>		

8 板書計画



9 教室内の配置図（チャレンジ教室）

